

# 地域おこし協力隊

和寒町は地域おこし協力隊制度を平成22年から活用し、これまで12名の隊員が活動してきました。現在4名が活動中で、町から委嘱を受けた1名が協力隊のサポートをしています。協力隊が任期を終えたときに町内で就職・起業をし、定住できるよう課題解決に向け広報委員が取材しました。



さくらい かおり  
櫻井 香里 さん

“食”を通して  
ふくしのまちづくりを推進

活動 R7.9月～（1年目）  
転入前 東京都中央区  
趣味 料理・道の駅めぐり



なかみつ さわ  
中満 紗和 さん

Instagram等のSNSを  
活用して町の魅力を発信

活動 R7.4月～（1年目）  
転入前 熊本県山鹿市  
趣味 旅行



ふじい くみこ  
藤井 久美子 さん

子育て支援・居場所づくり  
R7.5月「きらっと」開設

活動 R6.4月～（2年目）  
転入前 旭川市  
趣味 カラオケ・映画鑑賞



たなか たくみ  
田中 匠 さん

新規就農を目指して  
技術・ノウハウを習得

活動 R6.3月～（2年目）  
転入前 大阪府柏原市  
趣味 家庭菜園・柔道



みよし けいすけ  
三好 圭輔 さん

町から委嘱を受けて  
協力隊をサポート

協力隊の活動費は、国からの特別交付税で支援されます。和寒町の協力隊は、これまで任期終了後の定住・定着がほとんどなく、令和6年から三好圭輔さんがサポーターとして協力隊の活動を支援しています。

## 戸惑いと志を胸に地域と一緒に歩む

### 地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化などの課題を抱える自治体において、地方での就業や暮らしを望む都市部の意欲ある人材を町おこしの一員として迎え入れる制度で、平成21年度に総務省によって創設されました。

最長3年間を任期に、地域ブランドの育成や活性化、農林水産業の振興など、多岐にわたる地域協力の活動を行います。

**Q** 和寒に来て意外性を感じたことは何ですか？

**田中** 農業が思ったより難しいと身をもって体験しました。

**藤井** 高校卒業まで和寒にいたのでタイムスリップした感じでした。和寒の良さを改めて実感したので、より良い町にしていきたいと決意しました。

**中満** 福岡では毎日すし詰め状態で目まぐるしかったです。和寒では人の温かさをすごく感じ、丁寧に味わえる暮らしをぜひたくに感じていきます。

**櫻井** 東京に住んでいた頃はスピード感が苦しかったです。和寒に来て、丁寧にゆっくり暮らしています。都会で苦しんでいる子どもたちがいっぱいいるから、そこだけが世界じゃないよって皆に伝えたいと思います。

# 特集

## 4人の挑戦と日々

# まちで頑張る



▲それぞれの想いを胸に地域と歩む仲間たち（わっさむ冬の収穫祭にて）

**Q** 協力隊の定着に対して足りないことはありませんか？

**櫻井** 移住前に紹介された住宅の設備が古く感じて、子どももいるので家探しが大変でした。

**田中** 「ここの家空いてるよ」と言われても情報がなく、所有者が分からないので、空き家バンクに登録されていれば移住者も家を探しやすいと思います。

また、農業の関係で、他町では先に第三者継承先を提示する所もありますが、私は研修しながら継承先を探しているので常に不安を感じています。ある程度就農先が決まっていると、人が来やすくなると思います。

**Q** 活動中の町や受入れ先のサポート体制はどうですか？

**田中** 活性化センターでハウスを借りてトマトを栽培、販売して自分の資金にできる制度は、自分の経営の縮図として見られるのでありがたいです。

**藤井** 担当の保健福祉課長が心強く、本当にやりたかった子どもの第3の居場所「きらっこと」ができて良かったです。

**櫻井** 今後、和寒で採れた野菜を使った飲食店をやりたいのですが、空き店舗探しも一苦労で、補助金がありません。補助金の充実している自治体もあるので比べてしまいます。

**中満** 私の活動は町のPRや情報発信なので結果や影響が分かりづらく、担当職員の方が親身になってくれたらいいと思います。和寒に興味を持って来られたときには、この町で楽しんでいただきたいと思います。

「担当課が複数に分かれているので、対応が縦割り行政に感じる」との意見もありました。

議会ではこれまで、先進的な自治体を視察し、町に対してサポート体制の充実を要望していますが、今後も研究・提案していきます。

2月28日（土）11時～13時 交流施設ひだまりで地域おこし協力隊による「ふれあい感謝祭」が開催されます。詳しくは中満隊員のInstagramから

